

第1号議案-1 平成30年度事業報告書

平成30年7月1日から令和元年6月30日まで

特定非営利活動法人 NPO ながさき

I. 主な事業概要

本年度は昨年度に続き、「NPO等支援事業」＝「ながさき共感寄付」事業及び「ながさきプロジェクト事業」を実施しました。又、「福祉医療部会」において、部会員の募集及び社会福祉法人制度改革に対応する研修事業を実施しました。

NPO法人会計基準は、「市民にとってわかりやすい会計報告であること」「社会の信頼にこたえるような正確な会計報告であること」という観点から、市民参加型の作成プロセス（＝NPO法人会計基準協議会）によって作り上げられました。NPOながさきもこの協議会に参加しており、会計基準の普及・啓発活動を引き続き担ってきました。NPO法人会計基準は、平成29年12月12日改正されたので、改正内容の周知徹底に向けて、平成30年10月に左世保市及び長崎市において「NPO法人会計基準・改正のポイント&相談会」を開催しました。

○組織運営体制

認定NPO法人としての事業継続を見据えて、正会員・賛助会員の増加策を推進して行く必要があります。「NPO等支援事業」の継続に伴い、助成対象団体と協働して寄付金の募集に取り組みました。

II. 事業報告

① 総会

日時：平成30年8月25日（土）、15:15～16:30

場所：出島交流会館 4F 会議室

第1号議案 平成29年度事業報告及び活動決算（監査報告）

第2号議案 平成30年度事業計画及び活動予算

第3号議案 定款変更の件

第4号議案 役員改選の件

② 理事会

日時：平成30年8月13（月）、メール理事会

通常総会に付議すべき議案について議決しました。

日時：平成30年8月25（月）、社員総会終了後

川崎清廣を代表理事に選任しました。

③ 企画委員会

本年度は、開催できなかった。

④情報収集&提供事業（教育普及事業）

ア. 研修会(自主事業)

日時：平成30年8月25日（土）、13:00～15:00

場所：出島交流会館 4F 会議室

講師：川崎清廣、弥長一昭（税理士）

研修会の内容：「NPO法人会計基準の改正について」

「NPO法人の行う障害福祉サービスに係る課税問題について」
「社会福祉法人会計基準の改正について」

参加者：会員・職員 13名

イ. 福祉医療部会研修会

日時：平成30年10月3日(水)、15:00～17:00

場所：出島交流会館 4F会議室

講師：川崎清廣、弥長一昭(税理士)

研修会の内容：「社会福祉法人の指導監査実施要綱の改正について」

参加者：会員・職員 12名

日時：平成30年11月6日(火)、15:00～17:00

場所：出島交流会館 4F会議室

講師：川崎清廣、弥長一昭(税理士)

研修会の内容：「社会福祉法人の監査(税理士又は監事として)について」

参加者：会員・職員 12名

⑤マネジメントサポート事業

ア. 窓口相談・助言事業(自主事業)

○内容：県南(長崎市)及び県北(佐世保市)において専門家会員(税理士)に委託し、(常時月曜から金曜、10時から17時)NPO法人等に関する相談・助言窓口を設置し、NPO法人等への相談・助言を継続的に行いました。(担当専門家、川崎・角)

利用者が徐々に減少しているが、NPO法人に向けてのPR等も十分ではない。新年度より再検討する必要がある。

○実施時期：平成30年7月より令和元年6月まで

ウ. 「NPO等支援事業」=共感寄付事業

市民より広く寄付を募りNPO法人等に資金の助成を行う事業を実施しました。

事業のスキームとしては

- ① 市民・企業等に対して・・・寄付金を募集します。
- ② NPO法人等に対して・・・資金の助成を希望する団体を募集します。
- ③ NPOながさきの役割・・・応募があったNPO法人等を審査し、助成にふさわしい団体を選定し、助成します。(①の寄附金より事業維持資金として20%程度をNPOながさきがもらいます。審査委員にはNPOながさき以外に長崎市・県民ボランティア活動支援センター・ネットライフアリコ等。)
- ① のメリット：NPOながさきへの寄附金は「寄付税制」により控除等があります。
- ② のメリット：団体の資金不足からくる事業の不調等を改善します。
- ③ のメリット：多くの寄附金を得ることにより認定NPO法人継続への道が拓けます。寄付の仲介的役割を行うことにより財源の確保が可能です。②の団体との協働事業や連携等の可能性が

拡大します。長崎県に寄付文化を醸成する役割を担うことができます。

・平成30年度の応募団体は

NPO法人 スポーツ&エデュケーション長崎、もやいバンク福岡、ながさきDV加害者更生プログラム研究会、NPO法人 音浴博物館

・「ながさき共感寄付」の寄付金募集状況 (H30.7開始、R1.6.30現在)

事業全体を支援	スポーツ&エデュケーション長崎	音浴博物館	ながさきDV加害者更生プログラム研究会
18人 263,000円	9人 27,000円	1人 500円	14人 128,500円
もやいB区福岡			
3人 25,000円			

計 45人 444,000円となりました。

平成26年4月より開始しました「ながさき共感寄附事業」は、平成31年3月をもって5年間の活動を終了することとなりました。

※別紙「ながさき共感寄附の状況」(第1回～第5回累計)

会員の動向

平成28年12月「福祉医療部会」を発足し、部会員の募集を行いました。その結果、川崎(部会長)、弥長(副部会長)、平山、松尾、田中、白川、梁瀬、豊村、近藤、永田の10名の会員となっております

Ⅲ 事業の実施に関する事項

1. 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲および人数	支出額 (円)
情報収集・提供等事業 (教育普及事業)	NPO法人の税務・会計セミナー	10月	佐世保市 長崎市	3名	NPO法人等 25名	111,042
マネジメント サポート 事業	窓口相談会 共感寄付	7月～ 6月	長崎市 佐世保市	2名	NPO法人等 15名	412,012
		7月～ 4月	長崎市近 郊	3名	市民等 45名	

決算報告書

第 18 期

自 平成30年 7月 1日
至 令和元年 6月 30日

NPOながさき

長崎市大浦町7番22号 コーポおおoura3F

貸借対照表

NPOながさき

[税込] (単位：円)

令和元年 6月30日 現在

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
【流動資産】		【流動負債】	
(現金・預金)		未払金	43,620
現金	70,214	流動負債合計	43,620
十八・桜町普通	482	負債合計	43,620
十八・観光普通	431,588	正味財産の部	
郵便貯金	20,000	前期繰越正味財産	164,880
現金・預金計	522,284	当期正味財産増減額	348,784
流動資産合計	522,284	正味財産合計	513,664
【固定資産】			
(無形固定資産)			
電話加入権	35,000		
無形固定資産計	35,000		
固定資産合計	35,000		
資産合計	557,284	負債及び正味財産合計	557,284

活動計算書

[税込] (単位：円)

NPOながさき

自平成30年7月1日 至令和元年6月30日

【経常収益】			
【受取会費】			
受取会費収入		319,000	
【受取寄付金】			
受取寄付金		454,000	
【受取助成金等】			
受取助成金		154,120	
【事業収益】			
自主事業収益		22,000	
【その他収益】			
受取利息収入	1		
雑収益	1,000	1,001	
経常収益計			950,121
【経常費用】			
【事業費】			
(人件費)			
給料 手当 (事業)		166,800	
人件費計		166,800	
(その他経費)			
助成金 (事業)		164,800	
謝礼金 (事業)		30,000	
印刷製本費 (事業)		39,378	
会場賃料 (事業)		160	
旅費交通費 (事業)		18,700	
通信運搬費 (事業)		74,134	
消耗品費 (事業)		18,004	
雑費 (事業)		11,078	
その他経費計		356,254	
事業費計			523,054
【管理費】			
(人件費)			
人件費計		0	
(その他経費)			
雑費		78,283	
その他経費計		78,283	
管理費計			78,283
経常費用計			601,337
当期経常増減額			348,784
【経常外収益】			
経常外収益計			0
【経常外費用】			
経常外費用計			0
税引前当期正味財産増減額			348,784
当期正味財産増減額			348,784
前期繰越正味財産額			164,880
次期繰越正味財産額			513,664

財務諸表の注記

NPOながさき

令和1年 6月30日 現在

【重要な会計方針】
財務諸表の作成は、NPO法人会計基準（2010年7月20日 2017年12月12日最終改正 NPO法人会計基準協議会）によっております。

- (1). 固定資産の減価償却の方法
無形固定資産：定額法
- (2). 消費税等の会計処理
消費税等の会計処理は、税込方式によっております。

【用途等が制約された寄付等の内訳】
用途等が制約された寄付等の内訳は以下の通りです

内容	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	備考
ながさき共感寄付	24,000		24,000	0	
合計	24,000		24,000	0	

[単位：円]

【固定資産の増減内訳】

科目	期首取得価額	取得	減少	期末取得価額	減価償却累計額	期末帳簿価額
無形固定資産	35,000			35,000		35,000
電話加入権	0			0		0
ソフトウェア	35,000			35,000		35,000
合計	35,000			35,000		35,000

[単位：円]

財産目録

NPOながさき

[税込] (単位：円)

令和元年 6月30日 現在

《資産の部》

【流動資産】	
(現金・預金)	
現金	70,214
十八・桜町普通	482
十八・観光通普通	431,588
郵便貯金	20,000
現金・預金 計	522,284
流動資産合計	522,284
【固定資産】	
(無形固定資産)	
電話加入権	35,000
無形固定資産 計	35,000
固定資産合計	35,000
資産合計	557,284

《負債の部》

【流動負債】	
未払金	48,620
流動負債合計	48,620
負債合計	48,620
正味財産	513,664

監査報告書

特定非営利活動法人 NPOながさき

代表理事 川崎 清廣 様

特定非営利活動法人NPOながさきの平成30年度（平成30年7月1日から

令和元年6月30日までの）の財務諸表及び関係帳簿書類について監査の

結果、適正に処理されていることを認めます。

令和元年 8 月 6日

特定非営利活動法人 NPOながさき

監事 荒 木



宏